



## 鍛えの、夏

校長 並木 信治

新型コロナウイルス感染症の5類移行後初の夏季休業期間が終了し、学校に子供たちの笑顔が戻ってきました。異常とも思えるほどの暑さでしたが、この間、児童・生徒に係る大きな事故等の連絡は無く、安堵しております。休業期間への御理解、御協力に心より感謝申し上げます。

就業技術科においては、感染症・熱中症対策を施しながら、部活動を実施しました。博物館や美術館での校外活動、他校との練習試合や合同練習の他、バレーボール部は全日本IDバレーボール選手権大会、サッカー部はSGリーグ戦にそれぞれ出場し、好成績を収めました。

肢体不自由教育部門では、教員が計画した自主研修会や、都の主催による医ケア研修会や第三号研修等において、教職員が研鑽を深めたほか、宇都宮で開催された全肢P連（全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会）栃木大会に代表者が参加し、有意義な情報収集を行うことができました。

今年度の学校経営計画に盛り込まれた「図書活用・読書活動の推進」の実現を目指し、この夏季休業期間中に校内図書室のリニューアルを実施しました。書架やカウンターのレイアウトを一新し、両部門の児童生徒がより利用しやすい空間となるよう、工夫しています。児童・生徒のリクエストに応えつつ、今後積極的に蔵書を整えていく予定です。

まだまだ暑い日が続くことが予想されます。健康管理に十分留意し、教育活動を進めて参りますので、引き続き御理解、御協力のほど、よろしくお願いたします。



リニューアルした図書室



## 志村学園でチームワークを

主幹教諭 橋爪 淳

8月12日（土）～13日（日）浦安市運動公園体育館に於いて全日本IDバレーボール選手権大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し、部活動を含めた教育活動の制限が緩和されたこともあり、4年ぶりの開催となりました。本大会は、学校単位ではなく、各学校から選抜された生徒で東京都の高校生チームをつくって参加する特徴があり、今年で27回目となります。

志村学園バレーボール部から男女それぞれ4人が選出されて全国大会に挑みました。女子チームの監督を担い、8月4日から強化練習を行いました。その中で、チームワーク全国1番、短期間で日本一とまりあるチームを目指すことをテーマに掲げて活動しました。練習を重ねるごとにお互いの良さを確認し、認め合い、チームワークが深まる行動が各選手から見られるようになり、目的意識をもつことで確実に変わっていききました。予選リーグを通過し、決勝トーナメント初戦で埼玉県に勝利。準決勝で敗戦して全国3位で大会を終えました。チームの結束力から選手の主体性を引き出し、笑顔と実力以上の力を発揮することができたことが成果です。予選リーグで対戦したチームから、「みんな楽しそうで強い。」と褒めていただきました。

志村学園は、生徒全員が部活動に所属しています。引き続き、部活動だからこそ、伸ばせる力や向き合えることを大切にしていきます。11の部活動が、チームワークを発揮して、成し遂げていく経験を自分の強みやアピールポイントにして「ステキな大人」になることにつなげていきます。

# 職業に関する教科の紹介

## 「流通・都市農園芸サービスコース」の学び

担当 須貝 仁、曾我 大介

流通とは、生産者から消費者の「物や情報の流れ」のことを言います。志村学園での「流通」では、流通の基本的な知識を座学で学んだり、物流会社やスーパーマーケットで授業内実習を行ったり、実践に即した学習をしています。

「都市農園芸」では、野菜や草花、観葉植物の栽培・管理、花壇の緑化管理を中心に基本的な農業教育を学習しています。東京都庁「都民の広場」花壇にも植え付けを行っています。



## 「食品加工コース」の学び

担当 八嶋 直子

「厨房」では調理の技術、衛生管理を学びながら、お客様のために「速い、美味しい、きれい」な料理を目指しています。「接客」ではお客様を大切にする丁寧なサービスについて話し合いながら取り組んでいます。今年度はこれまでに、校内のレストラン「カフェ・ド・ノヴィス」で、ランチ2回、カフェ3回の営業を実施し、学んだことを実践の場で生かし、働くことの喜びや楽しさを得ています。



## 「ビルメンテナンスコース」の学び

担当 徳岡 壮平

「ビルメンテナンスコース」では清掃の技術を学び、日常清掃、定期清掃、受注清掃の3つの柱で学習をしています。清掃作業では技術だけでなく、働く姿勢や態度も重要な要素であることから、技術を指導するとともに働くために必要な意欲や態度を身に付けることを大切にしています。在学中に仕事のやりがいを感じ、就労後に働きがいを感じる。そして、社会の中で自分の役割を果たし、自信をもって生活していけるように学びを得ています。



## 「介護・コミュニケーションコース」の学び

担当 武田 亘生



「介護」では、直接介助や周辺業務について学び、介護技能、適切なコミュニケーションの取り方や洗濯・清掃などの技能を身に付けています。また、「ホテル」では、ハウスキーピングやホスピタリティについて学び、ベットメイク、清掃・消毒や接客など技能を身に付けています。授業内実習も再開し、高齢者とのレクリエーション活動や高齢者施設での車いす清掃などを行い、学習した内容を実践的に取り組むことで自己有用感が得られる学びとなっています。

## 「事務・情報処理の学習」の学び

担当 藤永 花野



「事務・情報処理の学習」は、どのコースに所属しても3年間継続して学習します。事務系の就職を目指すための知識だけでなく、どの職域でも通用する事務・情報処理のスキルを学んでいます。データ入力や名刺作成、印刷などの依頼業務や特別専門講師によるビジネスマナー学習を通して社会人になるための知識・技能を身に付けています。